

番号	区分	科名	和名(別名、流通名)	学名	特定外来生物	定着段階	定着段階に関するコメント	特に問題となる地域や環境	生態系への影響	経済・産業被害	人体への被害	対策の優先度	対策方法: 対策実施時の注意点など(分類により取扱いが異なるため、具体的な記載が可能なもの記載)
1	対策優先種	サンショウモ	外来アブラモ	<i>Azola</i> spp.	一部	定着	緑化事業は少ないが、水面を覆うような繁茂もある。	溜池・溜田	◎	○	△	○	水面を覆い尽くすように速やかに増殖する。植物体が小さく、気づけずしたため、1回の駆除作業で全てを回収することは難しい。監視と回収を繰り返すことが必要。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。まずはアブラモは水田から退出させないための対策を実施させる必要がある。
2	対策優先種	サトイモ	ポタノキクサ	<i>Pilea stratiotes</i>	○	定着	太田市で越冬記録あり。東毛や西毛の他の地点でも退出記録あり。	池沼	◎	○	△	○	現状では県内の侵入地の駆除は完了している。再侵入があった場合、早期に駆除しないと逃げ分かれて迅速に拡大し、夏季には水面一面に状態となり駆除が困難となる。今後も野手に放逐しないことが重要である。
3	対策優先種	アリノコグサ	オオナガモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	○	定着	前橋市東部および富岡市の複数地点でクローン形成	池沼・平地河川	◎	○	△	○	人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。
4	対策優先種	ウリ	アレナウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	○	定着	平野部の川沿いを中心に標高600m以下に広く分布する。	河川、耕作地周辺	◎	○	○	○	人為的擾乱地(工事、狭小、河川敷など)に速やかに侵入し広く分布するため、まずは当該地の特定と監視が必須。一年草であるが種子寿命が非常に長く、発見時は巨大化してしまっていることが多く、群生し更に大量の種子を散らす。群生は再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
5	対策優先種	ゴマノハグサ	オオナガモ	<i>Vernonia angustata</i>	○	定着	沼田市・高崎市(旧榛名町)より下流側の河川に広く定着。また、長野県でも部分的に定着。	平野部の河川、特に関わんどや雑草	◎	△	△	○	人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。秋に発芽し、冬に越冬する。冬に大量の種子を散らす。駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
6	対策優先種	キウ	オオナガイキウ	<i>Oenothera lanceolata</i>	○	定着	金糸の路傍や河川沿いに広く定着。	河川敷	◎	△	△	○	人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。秋に発芽し、冬に越冬する。冬に大量の種子を散らす。駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
7	対策優先種	キウ	ヒトコマリ	<i>Quercocarpus satenobae</i>	○	定着	平野部(藤岡市・佐野市より下流側)の河川に広く定着。	平野部の河川、特に関わんどや雑草	◎	△	△	○	人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。秋に発芽し、冬に越冬する。冬に大量の種子を散らす。駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
8	対策優先種	キウ	オオハコグサ	<i>Rubricola laciniata</i>	○	定着	主に山地に広く定着。	草原、湿原、低木林	◎	△	△	○	人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
9	対策優先種	ハゴロモ	ハゴロモ(アザミヤクサ、イノモン)	<i>Colymba caroliniana</i>	○	定着	東毛(板倉町)、西毛(安中市)に侵入し在来種を駆逐した事例がある。	池沼・溜池	◎	△	△	○	発生することがあるが、池沼から退却することはなく、駆除範囲は広い。ただし、水域もしくは池の水を抜く際の駆除作業になるため安全確保が必須。
10	対策優先種	ユリ	シロヤクサ(新緑ユリ、カキヤクサ)	<i>Lilium x formosum</i>	○	定着	前橋市などの平野部および皇後池周辺の路傍のほか、渋川市前橋町では利根川の露草にも生育している。	露草、低木の草地	◎	△	△	○	岩やコンクリートのすき間に入り込むことがあり、根を抜くのが難しい。種子を大量に生産し、強制的に増殖する。駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
11	対策優先種	トチカゲ	オオナガモ(アナカリス)	<i>Egeria densa</i>	○	定着	平野部の溜池・河川沿いの水域	溜池・河川	◎	○	△	○	アクアリウム等観賞用に意図的に導入された。人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。無性繁殖するため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。中流半端に巻き取り回収しただけでは再生するので効果がない。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。
12	対策優先種	トチカゲ	ユカガモ	<i>Elodea nuttallii</i>	○	定着	平野部から尾瀬沼・赤城大沼まで群馬県の水生植物では最も普通種になっている。	あらゆる水域	◎	○	△	○	アクアリウム等観賞用に意図的に導入された。人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。無性繁殖するため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。中流半端に巻き取り回収しただけでは再生するので効果がない。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。
13	対策優先種	トチカゲ	アマノコナガモ(アマノコナガモ、アムネ、アムネ、アムネ)	<i>Limnium limnium</i>	○	定着	東毛(邑楽町)で定着しているほか、2022年以降沼田市や前橋市からも記録されている。	池沼、溜池、河川の堤防周辺	◎	△	△	○	群馬県での分布は限定的だが、侵入地点は増加の兆候がある。特に県西部では越冬の可能性がある。いったん侵入すると分布しやすくなる。駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。分株による迅速な拡大と繁殖には、駆除しても種子が散らばるため効果は低く、見つけ次第回収することが必要。野外に放逐しないことが最も重要な対策である。
14	対策優先種	トチカゲ	外来セキショウモ(オオセキショウモ、シロヤクサ、ハリシロヤクサ、セイウセキショウモに類似した外来種)	<i>Vallisneria spiralis</i>	○	定着	群馬県の1河川(湯沢)で定着し、在来種への脅威に及んでいる。	河川	◎	△	△	○	群馬県での分布は限定的。侵入初期に駆除することが必要。流れのある水域での駆除作業となるため安全確保が必須。
15	対策優先種	アヤメ	キシヤクサ	<i>Iris pseudacorus</i>	○	定着	金糸の水辺に広く定着している。	河川、池沼、溜池	◎	○	△	○	観賞用に意図的に導入された。人為的擾乱地(水路、池沼、河川敷など)に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。地下部分で根付くため、花が咲く前に除草剤を散布する必要がある。また、花の根が硬く、根を断つのが難しい。特に根が硬い場合は、根を断つのが難しい。
16	対策優先種	ヒメアザミ	オオアザミ(オオアザミ、オオアザミ)	<i>Elephantopus scaber</i>	○	定着	平野部・丘陵地に広く分布している。板倉町では越冬を確認している。	溜池、河川の堤防	◎	○	△	○	寒さに強い。冬には越冬することが多い。夏季、水面一面に株が広がった状態の回復は難しい。
17	対策優先種	イグサ	ユゴメ	<i>Juncus</i> sp.	○	定着	渋川市以南の池沼や河川沿い、さらに水田農業地に広く分布している。	河川、池沼、溜池、林縁地	◎	○	△	○	種で多数の河川敷や放棄水田、背原等に分布し、県全域での駆除は難しいと考えられる。混った場所には駆除が難しい。人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。無性繁殖するため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。中流半端に巻き取り回収しただけでは再生するので効果がない。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。
18	対策優先種	カヤツリグサ	メリアンソウ	<i>Oxyria nigrescens</i>	○	定着	伊勢崎市以南の平野部に侵入し、雑草化している。	平野部の溜池、池沼、河川	◎	○	△	○	分布域が広いので全域での駆除は難しいと考えられる。河川に沿った分布をする場合は水系全体の駆除計画が必要。引抜は容易だが、根が長く残ると再生しやすい。再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。
19	対策優先種	イネ	メリアンソウ	<i>Anagallis arvensis</i>	○	定着	金糸、特に南部に広くみられる。	農家裏の草原、湿原、河川の草地	◎	△	△	○	絶滅危惧種の生育地によく生育する。駆除は種子形成される前に行うべき。引き抜きが難しい。引抜は効果がないので、シャベルで取り除く。
20	対策優先種	イネ	シナノオモミ(オモミ、シナノオモミ)	<i>Eragrostis curvula</i>	○	定着	金糸の川沿いや路傍にすでに広く分布する。	河川敷	◎	○	○	○	県内では山岳部から平野部まで広く分布している。重要地点での駆除は難しいと考えられる。根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。河川敷では根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。河川敷では根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。
21	対策優先種	イネ	オオクサ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	○	定着	群生することは稀であるが、金糸的に多数化している。	溜池、休耕田、水田、河川	◎	○	○	○	分布域が広いので全域での駆除は難しいと考えられる。一年で地下部の発芽がよくないので、引抜は容易なほうである。ただし、在来種のオオクサと区別が難しい。
22	対策優先種	イネ	オオクサ	<i>Panicum distichum</i> var. <i>distichum</i>	○	定着	吾妻川以西の平野部では、水田雑草となるほど定着している。	平野部の水田、休耕田、溜池	◎	◎	△	○	世界に広がる水田の雑草で、水面上や水田に発生する。水流をやり、再生能力が高いため、根を深く張るため駆除は難しい。広域分布し農業被害、水流障害を起こしている。全面駆除方法はないので、重要地点での駆除撤去が効果的な方法はない。
23	対策優先種	イネ	オオクサ	<i>Panicum distichum</i> var. <i>indicum</i>	○	定着	吾妻川以西の池沼や放棄水田に入り、雑草化する。このほか富岡市大塚原でも定着している。	平野部の池沼、溜池、休耕田	◎	○	△	○	河川に沿った分布をする場合は水系全体の駆除計画が必要。また、水田や池沼にも発生するため、単独での駆除が難しい。水面上や水田に発生する。水流をやり、再生能力が高いため、根を深く張るため駆除は難しい。広域分布し農業被害、水流障害を起こしている。全面駆除方法はないので、重要地点での駆除撤去が効果的な方法はない。
24	対策優先種	イネ	セイロンモロコシ(シロコシ)	<i>Sorghum halepense</i>	○	定着	前橋・沼市以南の平野部や放棄水田に普通。幹線道路に沿って富岡や渋川でも確認されている。	河川敷	○	△	○	○	多年草で根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。河川敷では根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。河川敷では根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。
25	対策優先種	ケン	白山の高山草のコマクサ	<i>Dicentra peregrina</i>	○	定着	本来のコマクサ分布域の群馬白土山脈のほか、日光白根山、野沢湖などで意図的に移植され、自然繁殖している。	群馬白土山(特に在来タイプが存在する地点)	◎	△	△	○	関係者の認識に混乱があるため、外来種体と在来種体で区別している。在来種体については、科学的な根拠に基づいた保全ができるよう、関係者の合意形成が必須。
26	対策優先種	キンギョ	セリハエンソウ	<i>Euphorbia corollata</i>	○	定着	前橋市近郊で広がっているほか、群馬山岳部でも群生を形成している。都市部よりもむしろ郊外や中山間地に広くみられる。	早春雑草の生育地	◎	△	○	○	分布域が広いので全域での駆除は難しいと考えられる。地下部は発達せず、花が自立するので駆除作業は容易。
27	対策優先種	マ	イタハギ(クハナエンソウ)	<i>Amorpha fruticosa</i>	○	定着	金糸の山岳部や河川沿いにすでに広く分布する。	山岳部法面、河川敷	◎	△	△	○	緑化用・観賞用に意図的に導入された。人為的擾乱地(工事、狭小、河川敷など)に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。
28	対策優先種	マ	エニダ(エニダ)	<i>Oxyria scoparia</i>	○	定着	群馬では山岳部の法面に限定的。	荒草(駆逐する兆候はない)	○	△	△	○	低木で多数の分枝を出すため、除去には機械と労力に頼る必要がある。また、こうした作業員が必要。またこうした作業員が必要。
29	対策優先種	マ	ハリエンソウ(ヒメアザミ)	<i>Rhinia pseudoacacia</i>	○	定着	金糸に普通。	ダム、河川敷、雑木林	◎	◎	◎	◎	河川敷での駆除は、国土交通省と群馬市町村の連携による広域協働方式が必須。木本でありながら根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。河川敷では根が深く、また再生力が高いため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。
30	対策優先種	マ	外来クサ(ヒメアザミ、ヒメアザミ、ヒメアザミ)	<i>Vicia villosa</i> ssp. <i>villosa</i> ssp. <i>villosa</i>	○	定着	群馬の平野部のほか、沼田市や川場村からも記録がある。	河川敷	◎	△	△	○	ついで、発生するため、駆除作業に多大な労力を要する。ついで、発生するため、駆除作業に多大な労力を要する。
31	対策優先種	ニギキ	ニワウチ(シシトウ)	<i>Althaea officinalis</i>	○	定着	利根川本川では、月夜野町以南の河川沿いにすでに広く分布する。また、前橋市に定着している。	河川敷	◎	△	△	○	天候の急変によって意図的に導入された。人為的擾乱のある池沼・水路に速やかに侵入し広分布する。まずは当該地の特定と監視が必須。無性繁殖するため、駆除には複数回の引き抜き完全撤去が必要。中流半端に巻き取り回収しただけでは再生するので効果がない。水域での駆除作業になるため安全確保が必須。